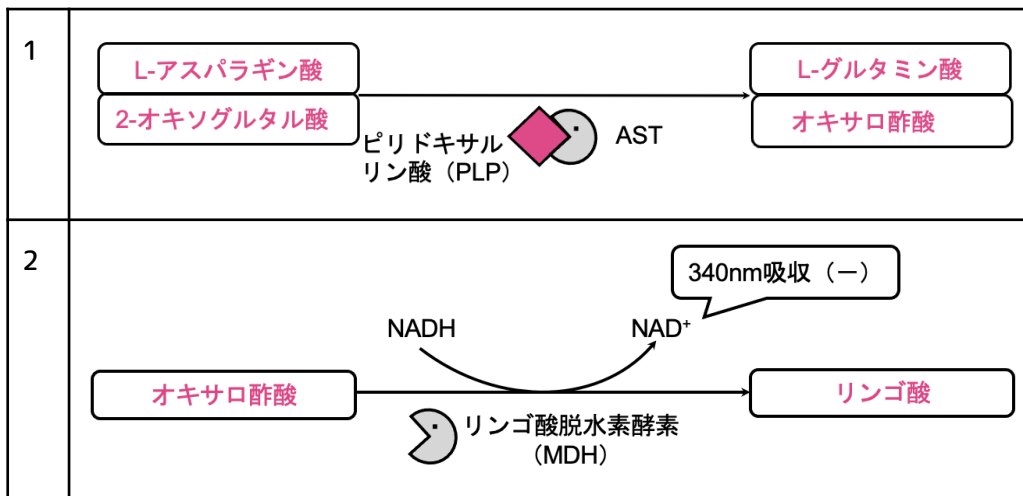


# 主要8酵素の測定法

## AST活性の測定法

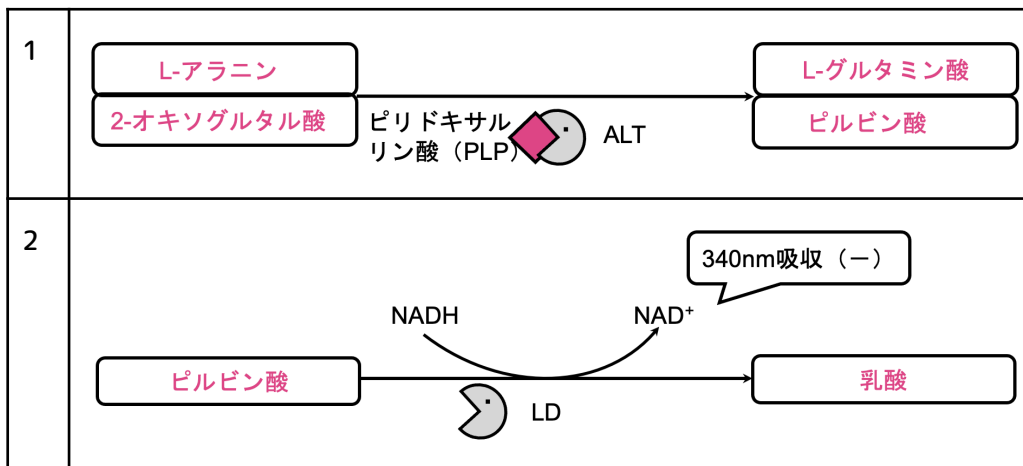
### JSCC法（紫外外部吸収法）



※ASTはビタミンB<sub>6</sub>であるピリドキシンの誘導体であるピリドキサルリン酸 (PLP) を補酵素とする。PLPと結合した状態の活性酵素をホロ型酵素、結合していない非活性酵素をアポ型酵素という。

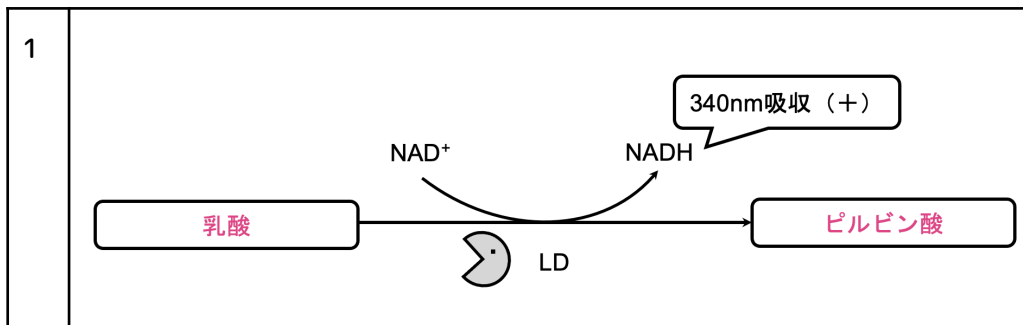
## ALT活性の測定法

### JSCC法（紫外外部吸収法）



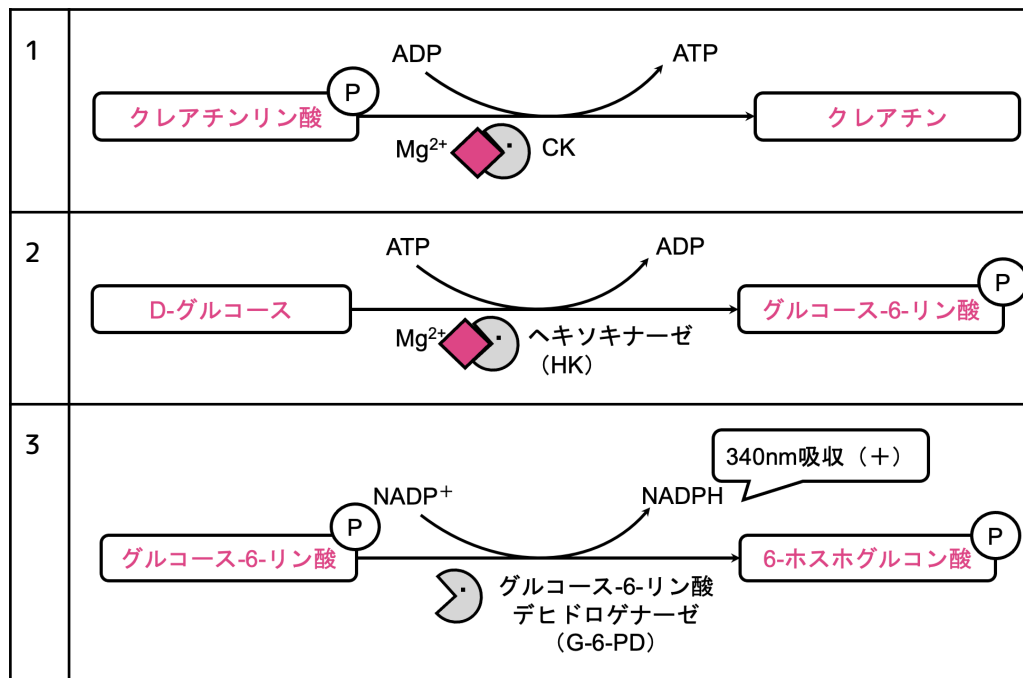
## LD活性の測定法

### JSCC法



## CK活性の測定法

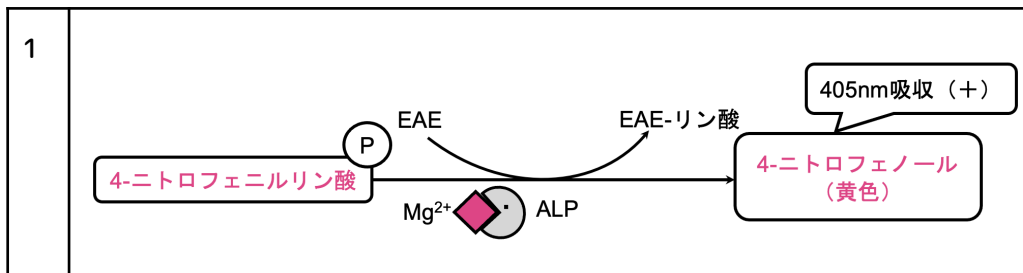
### JSCC法



※ 反応式に直接出てこないが、JSCC勧告法の試薬中にはAMPやN-アセチルシステインなども加えられている。

## ALP活性の測定法

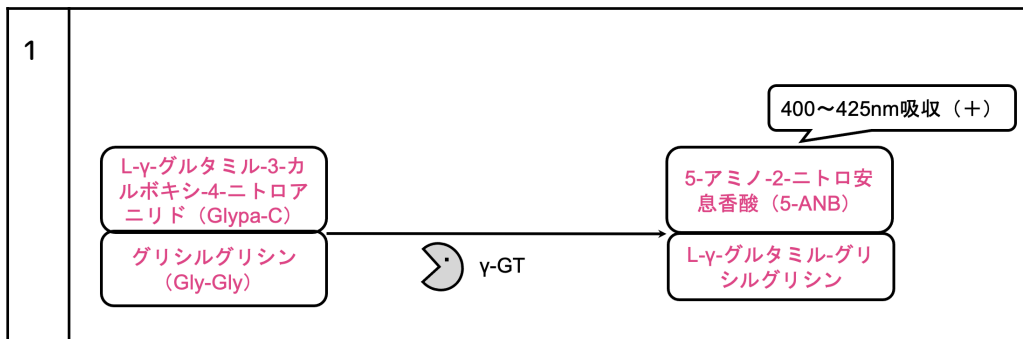
### JSCC法



※日本で普及しているJSCC法では緩衝液に2-メチルアミノエタノール（EAE）を用いるのに対し，国際的に普及しているIFCC法では緩衝液に2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール（AMP）を用いる．現在日本臨床化学会は，JSCC法からIFCC法への変更を検討している．

## γ-GT活性の測定法

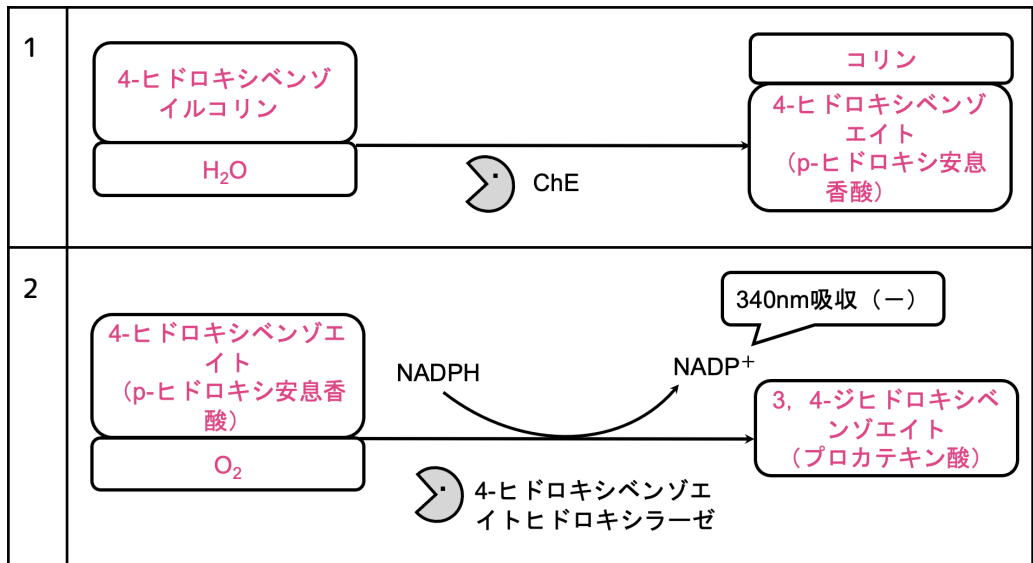
### JSCC法



※5-ANBは，3-カルボキシ-4-ニトロアニリンともよぶ．

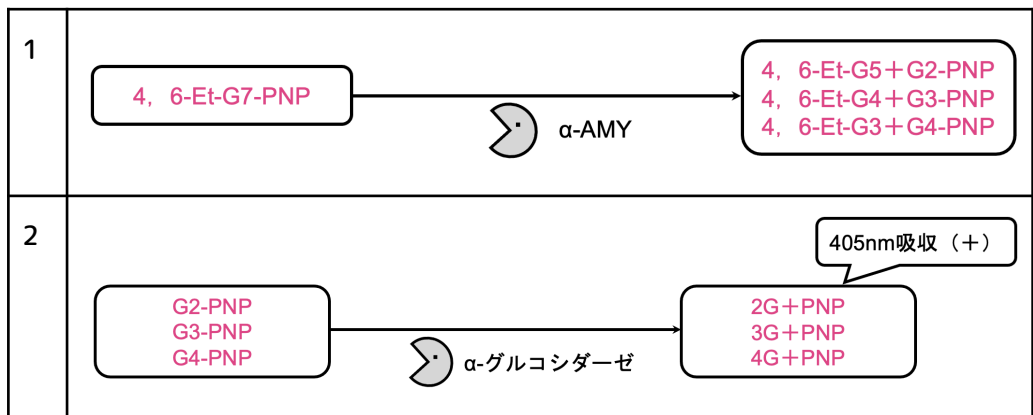
## ChE活性の測定法

### JSCC法



## AMY活性の測定法

### JSCC法



※G：グルコース，PNP：p-ニトロフェノール